

小さなまちでも エンジョイスポットがいっぱい



大人も子どもも
みんなが楽しめる
ご家族でどうぞ！

日曜朝市

田尻日曜朝市



毎週日曜日(午前7時～正午まで)、田尻漁業協同組合の事務所前で、新鮮な魚や野菜、日用品などの朝市が開かれています。新鮮な海の幸を求めて朝早くから大勢の人で賑わい、売り切れるものも多くあります。

毎週日曜日(午前7時～正午まで)、田尻漁業協同組合の事務所前で、新鮮な魚や野菜、日用品などの朝市が開かれています。新鮮な海の幸を求めて朝早くから大勢の人で賑わい、売り切れるものも多くあります。

毎週日曜日(午前7時～正午まで)、田尻漁業協同組合の事務所前で、新鮮な魚や野菜、日用品などの朝市が開かれています。新鮮な海の幸を求めて朝早くから大勢の人で賑わい、売り切れるものも多くあります。

漁業体験



田尻漁業協同組合が漁船を出して、漁業体験・関空クルージングとこれと海鮮バーベキューを行っています。

- 漁業体験フルコース ● 漁業体験 + 関空クルージング + 海鮮バーベキュー
- 漁業体験セミコース ● 漁業体験 + 関空クルージング
- 海鮮バーベキュー ● 海鮮バーベキュー

予約・お問い合わせ
田尻漁業協同組合・田尻海洋交流センター 〒598-0093 大阪府泉南郡田尻町りんくうポート北1番
TEL.072-465-0099 FAX.072-465-1944 受付時間/7:00～17:00(火曜日定休日)

海釣りぽ～と田尻(釣堀)



田尻の海で気分爽快フィッシング！初心者から上級者まで本格的な釣りが楽しめます。

予約・お問い合わせ
田尻海洋交流センター
TEL.072-465-0099
受付時間/7:00～17:00(火曜日定休日)
※予約無しでのご来場の場合、当日スペースがあれば可能です。



●漁家レストラン
漁業体験の獲物は、開放感あふれる漁家レストランでそのままバーベキュー！

小さなまちに美味しさいっぱい



泉州黄たまねぎ
(収穫期は、毎年5月ころ)
泉州玉葱の発祥の地とされる田尻町では古くから盛んに作られています。今ではまぼろしのたまねぎと称される吉見早生品種は、球形は扁平で水分を多く含むため日持ちはしますが、肉質は柔らかく甘みが強い品種で、なまの伝統野菜にも指定されている逸品です。



泉州水なす
(収穫期は、毎年6月～9月頃)
皮が非常に柔らかく水分が多いのが特徴です。最近では泉州地域各地で販売されている水ナスの浅漬が全国的にも有名になっています。



あなご
(11月～6月)
田尻漁港の水揚げの上位に位置するあなごは、てんぷらや蒲焼などでいただけます。日曜朝市では、トコ箱いっぱいにお楽しみいただけます。



泉だこ
(7月～12月)
多様な魚介類が生息する大阪湾はエビやカニなどのえさが豊富で、潮の流れが穏やかなことから、風味よく柔らかい泉だこが獲れます。刺身やたこ飯がおすすすめ。



いかなごのき煮
大阪湾では、春を告げるいかなご漁として、毎年2月下旬から3月に生のいかなごがご賞味いただけます。ごはんとの合性がぴったりで、長期の保存が可能です。田尻漁港では、毎年3月にき煮教室を開催しています。



イベント



KIX泉州国際マラソン(2月)



泉州黄たまねぎ祭(5月)

小さなまちが日本の玄関

関西国際空港

もうひとつの田尻町
出会いにぎわい、充実した施設や
イベントが盛りだくさん！

1994年に開港した関西国際空港は、国内有数の国際線・国内線ネットワークを提供する完全24時間運用可能な国際拠点空港です。関西、日本における西のゲートウェイに位置付けられ、航空旅客数は毎年のように過去最高を更新しています。



田尻町ラッピングバス



KIXそばーく

小さなまちにあふれる歴史・文化

春日神社



祭神は、武甕槌命(たけみかづちのみこと)、齋主命(いらいぬしのみこと)、天児屋根命(あめのこやねのみこと)などが祀られています。「宝亀年間吉見小佐治の来住して、この地を開発して一村をなしたる時、その祖春日大明神を勧請せしものなり」といふ(万載記) 南海本線「吉見ノ里」駅より300メートル 徒歩3分

泉州玉葱栽培の祖碑

大正2年、今井佐治平、大門久三郎、道浦吉平のたまねぎ栽培の功績をたたえるために農会により建てられました。碑には、たまねぎ栽培に至った経緯や当時のたまねぎの生産高などが記されています。
南海本線「吉見ノ里」駅より400メートル徒歩約4分

嘉祥神社



本社には保食神(うけもちの神)が祀られており、徳川時代にはこのお宮のことを稲荷大明神と称しました。(本殿は、昭和51年大阪府有形文化財に指定) 南海本線「吉見ノ里」駅より900メートル 徒歩約15分

秋祭り

田尻町役場前で、やぐらと地車(だんじり)がそろうのは、珍しい風景です。だんじりの良さ、やぐらの良さが一度に味わえる秋祭りです。
開催日：毎年10月初旬の土曜日、日曜日
場所：田尻町内全域 南海本線「吉見ノ里」駅下車

まちの一口メモ

田尻歴史館(愛らんどハウス)



田尻歴史館はインテリアに見事なステンドグラスを使用したアールヌーヴォー様式の洋館と和館が繋がった珍しい大正建築です。もともとは、田尻町吉見出身で明治から大正を通じて関西繊維業界の中堅を担い「綿の王」を呼ばれた谷口房蔵氏が氏の設立した吉見紡織に隣接する別邸兼来賓館として建設されたものです。このほか氏は原綿を仕入れるための港や道路を整備したほか教育や土木を始め阪和線の導入に尽くすなど、社会基盤整備にも多大な貢献をしました。田尻歴史館は町の発展の礎となった紡績業の繁栄と企業家が身につけていた数奇・風流の素養を併せて実感させてくれる場です。
谷口房蔵氏